

明日に向かって

理事長 鈴木 重徳

最初に中越地震で不幸にもお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災された協会員並びに日頃からご支援いただく多くの市民の皆様にお見舞い申し上げます。長期化する事態で心身ともにお疲れと存じますが厳しい冬を向かえ、くれぐれも健康にご留意いただき一日も早い復興をご祈念申し上げます。また、私たちがこのような時こそ社団法人として皆様のお役に立つため協会員一同全力でご支援申し上げる覚悟でございます。

なお、協会員諸兄に置かれましては、震災発生直後から街路・公園・民間住宅と休む間もなく復旧と保安にご尽力いただき感謝申し上げます。しかし、こうも長期化したしますと自覚症状のないままストレスが蓄積し取り返しの付かぬ事態になり易いと聞いております。どうかご自愛いただきますように。そして、明日を信じて元気をだそうではありませんか!!

合言葉は「助け合い、元気を出してがんばろう!!ながあか」です。



リサイクル園路舗装工 試験施工（11月9日）

さて、「緑のゼロエミッション」を掲げて長岡緑地環境協同組合と提携し緑地から発生する枝葉などを全て有効物として大地に返そうとする試みも3年目を向かえ試行錯誤の中から様々な取り組みをしておりますが、10月から専従職員として佐藤文高さんが加わり、ますます開発にも弾みがつくことと期待しております。チップ・堆肥・土壌改良と比較的平易な技術から舗装・建材・科学物質の抽出・次世代バイオマスなど進化した技術力の開発や実用化に向け取り組んでいく所存であります。来年の4月には待望の新市「長岡」が誕生いたします。われわれも新時代に即応した住環境の整備に向け、信念と情熱を持って進もうではありませんか。

視察研修

～南信州～



本年度の視察研修は、今年7月に長野県安曇野に開園した「国営アルプスあずみの公園」や、全国にさきがけて町並み保存運動を始めた「妻籠宿」などを視察しました。雄大なアルプスの山々に囲まれた公園や、江戸時代の町並みを残すことで街づくりを進める妻籠など、都市景観を考えるきっかけを与えてくれました。(佐藤)

視察研修に参加して

北越緑化株長岡営業所 新井 和彦
研修に参加するに当たり、私自身のテーマを決めて、参加しました。テーマは「国営アルプスあずみの公園の修景」です。これは、安曇野の自然を活かした修景がどのようになっているのかを見たいと思いテーマにしました。このあずみの公園には、大まかに3つのトレイル（散策路）があり、アルプスの山々から流れる清流を、公園内に引き込んだ水路を巡るもので、その清らかな水量は見ごたえがあります。また水路脇には、段々畑や、アカマツの自然林が形成されており、やすらぎの空間となっている様です。その他のトレイルでは、安曇野の風土を実感できる様になっており、先人達が守り続けて来た、安曇野の歴史を垣間見る事が出来ます。テーマ館は、昔の木造の学校をイメージしてあり、木工体験や安曇野の清流に棲む魚を見学など、見るだけでなく、体感できる場所でした。国営公園の他に、アルプスの清流を活かした「大王わさび農場」や中山道の宿場街を残してある「妻籠宿」等を周り、修路につきました。参加された皆様が時には真剣に、時には楽しく充実した2日間となりました。皆様本当に有難う御座いました。そしてお疲れ様でした。



アルプスあずみの公園

展望テラスよりアルプスを望む